

中央大学杉並高等学校 学校通信



杉燦

中央大学杉並高等学校

総務部発行

2023年度第4号(通算111号)

<https://www.chusugi.jp>

〒167-0035 杉並区今川2-7-1

☎03-3390-3175

無断転載禁止・不許複製

59期生 卒業おめでとう!

2024年3月9日(土)、第59回卒業式が本校第一体育館にて行われました。10時開式、卒業生・教職員・来賓・保護者の方々(一家庭につき2名まで入場可)が参列。59期生男子138名、女子174名、計312名の名が呼ばれ、一人ずつ壇上で卒業証書を受け取りました。中杉卒業生は18,797名となりました。



卒業式次第

- 開式の辞
- 校歌斉唱
- 卒業証書授与
- 各種賞状授与
- 記念品贈呈
- 学校長式辞 校長 高橋 宏明
- 祝辞 中央大学 国際情報学部長 平野 晋
- 在校生代表挨拶 二年八組 T・A
- 卒業生代表挨拶 三年七組 T・M
- 蛍の光斉唱
- 閉式の辞



「自分を大切に、世界を意識しながら、果敢に挑戦を！」

中央大学杉並高等学校長 高橋 宏明

五十九期の生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお慶び申し上げます。

皆さんの過ごした三年間は、世界的に見ても激動の時期でした。新型コロナウイルス感染症の世界的流行、ウクライナ戦争の勃発等が、日常生活に多大な影響をもたらした。世界の先行きも不透明になりました。昨年末以来、中東ではイスラエルとパレスチナの紛争が激化しています。ウクライナ戦争もパレスチナの紛争も未だに停戦の糸口さえ見つからず、世界に不安が広がっているように感じます。

とはいえ、どんな時代であるにせよ、私は皆さんには、先ず自身を大切に生きて欲しいと願っています。当たり前のことですが、人間は一人ひとり異なります。自分は世界で一人しかいない、「かけがえのない」存在です。時代の流れに翻弄されることなく、他者と自分を過度に比較したりせず、自分の良いところも悪いところもそのまま受け入れながら、「かけがえのない自分」を大切に生きてください。

その上で次に、皆さんには自分のことだけを考えるのではなく、世界との繋がりを意識し、「大きな問題」の解決にも挑戦して欲しいと思います。地球温暖化、紛争、難民、貧困問題など、世界には解決すべき課題が山積みで、皆さんが活躍する場面はたくさんあります。皆さんは仲間を思いやり、共に考え、共に学ぶ姿勢を身に付けました。中杉で養った人間力をさらに発展させつつ、世界と自分、日本と自分の関係を常に考えながら、他者とも協力し、地球規模の課題や社会問題の解決に挑んでみてください。

皆さんが自分で納得のいく人生を送ることを祈念して、私からの祝辞とさせていただきます。

祝辞

中央大学国際情報学部長 平野 晋

中央大学杉並高等学校卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、皆さんを支えてこられた、ご家族や教職員やご関係者の皆さまにも、お祝い申し上げます。

卒業生の皆さんの多くは、中央大学の各学部に進学することと思いますが、その他の進路をとる卒業生も居ることでしょう。何れの進路をとるにしても、皆さんが中核で修得した「幅広い教養」と、「人間性・社会性」と、「真の学力を養い、正義と社会性を育み、人間として豊かな生き方を求める」力は、今後の皆さんの人生で必ず役立つことと確信しております。その例として、未だ皆さんには少し早い話題なのですが、就職活動に於いて企業がAIを利活用している問題を取り上げてみましょう。

AI利用が進んでいるアメリカでは、大企業の多くが、膨大な応募者達の履歴書から、面接段階に進ませない者をAIに決定させています。確かにAIは、大量の文書を瞬時に読み取って、一定の条件を満たす書類だけを振り分けるとすような作業には適しています。ヒトであれば読み取りに時間が掛かりますし、疲れてくれば速度も遅くなり、間違えも増えてきますから、AIの方が優れているのです。ですから多くの大企業が、AIに履歴書を振り分けさせていますが、その際、例えば半年以上の離職期間がある応募者を自動的に振り落とさせると、結果的に女性の採用者が減ってしまうことが、問題になっていきます。「半年以上の離職期間」という基準自体は、女性差別的ではないのですが、その性別中立的な基準を採用した結果として女性の採用者が減ることは、「差別的効果」が生じるので、倫理的・法的・社会的に問題になるのです。

そもそもAIは、半年以上の離職期間がある人物の背景事情や、高い能力や、強い勤労意欲などの「文脈」やニュ

アンスを理解できません。たとえ或る女性の離職期間が半年に及んだとしても、その理由が例えば結婚・出産・育児等で、かつ今では職場復帰できる状況に成っているばかりか、高い能力と強い勤労意欲があっても、AIはそのような背景事情を汲み取れず、自動的に振り落としてしまうのです。

他方、もしAIではなくヒトがその女性の履歴書を読んだら、以上のような背景事情を読み取った上で、面接段階に進めさせることが出来ます。何故ならヒトであれば、「半年以上」の「離職期間」という「教値」や「データ」以外の、その他の諸事情も考慮に入れて、全体の文脈から総合判断が出来るからです。

万能と思われていたAIが、実は万能ではなく、AIが不得手な部分はヒトが意思決定を下さねばならないという以上の逸話から、ヒトの「総合力」の重要性を理解することが出来るでしょう。現実社会の様々な問題には、「0」「1」のような数値だけでは測れない事情が多く存在していて、そのような事情も理解した上で適切に総合判断できる能力は、AIには備わっていないのです。従って今後の社会では、様々な判断をむやみやたらにAIに委ねることなく、ヒトが適切な意思決定を下せるような「総合力」を育くまなければならぬのです。

幸い皆さんは、中核で、AIには備わっていないような、「幅広い教養」と「人間性・社会性」を養ってくれました。加えて「真の学力」と「正義と社会性」と「人間として豊かな生き方を求める」力も育んでくれました。そのような「総合力」を、大学や卒業後の進路で十分に活かして下さい。社会がAIに支配される「ディストピア」にならないように、皆さんの総合力を活用して、社会に貢献できる人材に育つてくれることを願っています。

以上、皆さんのご卒業を祝して、お祝いの言葉に代えさせていただきます。本日はご卒業、誠におめでとう御座います！



在校生代表挨拶

二年八組 T・A

吹く風にも春の訪れを感じるこの良き日に卒業される五十九期生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業を迎えた今、先輩方はどのようなお気持ちでしょうか。この学校を離れる寂しさ、次のステージへの不安もあると思います。もしくは期待に胸を膨らませているかもしれません。目を閉じると、私達在校生も先輩方と共に過ごした数々の思い出が蘇ってきます。

先輩方が入学された頃は、新型コロナウイルスの影響でいろいろな制約がありました。その後、制約が徐々に緩和され、新しい様子を模索しながらの学校生活となりました。そんな激動の三年間には多くの苦労があったことと思います。先輩方はそんな中でも、できることを一生懸命試行錯誤し、いつも私達の見本となり、優しく笑顔で導いてくださいました。

特に学年関係なく四つのチームに分かれて共に戦った体育祭では、先輩方の闘志とリーダーシップを間近で感じる事ができました。自分の団を一緒に大声で応援し、一喜一憂した時間は強く印象に残っています。

先輩方は、年齢が一つしか変わらないだけで、どれほどその背中が大きく見えたことでしょうか。辛い時には私達の横で並走して下さいました。また、私達の背中をそっと押してくださったこともあります。身近な存在でありながら、いつも憧れの存在でした。全ての在校生が先輩方とのかけがえのない思い出をたくさん持っていることと思います。しかしそんな先輩方も明日からはいらっしやいません。

四月には先輩方の学年カラーを受け継いだ新入生を迎えま

す。きっと最初は赤い学年カラーを見るたびに先輩方を思い出して寂しくなることもあるでしょう。でもこれから私達が最上級生としての誇りを持ち、先輩からのバトンをしっかりと受けつぎ、後輩の良い見本となりこの中杉を引っ張っていきます。

最後になりますが、今まで私達を導き可愛がってください。本当にありがとうございます。先輩方のご健康とご活躍を祈念して、在校生代表の送辞とさせていただきます。

卒業生代表挨拶

三年七組 T・M



観音寺の桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じる季節になりました。

今日をもって私達五十九期生三二二名は中央大学杉並高校を卒業します。本日はこのような素晴らしい式の挙行に際しご尽力下さった先生方、職員の皆様、ご来賓・保護者の皆様、在校生の皆さんに厚く御礼申し上げます。

振り返れば、中学二年生の学校見学から、中杉と私の物語は始まっていました。やりたいことが三年間にぎゅつと詰まっているこの高校の受験を決め、晴れて中杉生となることが決まった次の日には、通学のための自転車を買って行きました。

膝丈のスカートを揺らしながら向かった入学式は、コロナ禍のため二部制で行われました。ワクワクする思いを抱えてはいたものの、正直、キラキラした高校生活は半ば諦めていました。しかし、そんな心配をよそに私の高校三年間は、ここでは語り尽くせないほど、彩のあるものになりました。

一年生では、行事が全て無観客で開催されるなど通常とは異なるものの、それぞれを工夫しながら乗り越えました。全くの未経験で入部したダンス部の活動が私の生活の大部分を占めていましたが、練習した分少しずつでも上手くなれる自分に驚き、嬉しかったのを覚えています。三年間を通して最終的には、

文化祭を含め数々の公演や二度の全国大会で多くのお客さんに観に来ていただきました。

高校二年生では、緑苑祭、体育祭に研修旅行と楽しい行事が目白押しでした。中学のときは修学旅行が中止になったため、私にとってこれが人生初めての大阪・京都となりました。なにより、学年全体で揃って同じ場所へ行ったことで、新たな絆を深めることができました。

そして私のターニングポイントとなった、ニュージーランドチーム留学もありました。未知の世界での英語漬けの日々は、自分の進路を大きく左右する経験となりました。もちろん辛い時もありましたが、みんなの応援と、自分の目標・夢、そしてニュージーランドの温かい人々のおかげで、乗り越え、力にすることができました。視野が大きく広がり、積極性やコミュニケーション能力も身についたと思います。帰国するときにはホストファミリーと別れたくなくて大号泣するほど充実した、あの日々を一生忘れることはないでしょう。コロナで中断されていたチーム留学を実現しようとして動き、晴れて一期生として私達を送り出してくれた先生方と共に、私がやりたいと言うこと全てに快く背中を押してくれた両親には感謝してもきれません。

三年生の学校生活は、昼食時のシールドが無くなることからスタートしました。向かい合ってお弁当を食べることができると友達と何をどう話せば良いかわからず、改めて目と目を見て話すことの少なくなったコロナ禍の代償を感じました。それでも日々顔を見合わせて大笑いしたり喜んだり、時には怒ったり悲しんだりすることで、互いの心の中にある壁も取り払われていきました。特に行事を重ねることに打ち解けていき、音楽祭は全員笑って終わることができました。

すべての行事を終え、友人と話していたときに、実は私自身クラスでの行事の賞を三年間で一度も取ったことがないことに気がつきました。ですが、そんなことは関係ないほどどれも楽しいクラス、明るい毎日でした。 プライズ・レス prize-less

——賞がなくても——思い出は、「Prizes」なのです。

そして、先日三十名の中杉生で、オックスフォード研修に行ってきました。大学の敷地内で受ける授業や、街ゆく人に英語で行うインタビューなど、すべてが一生に一度あるかなにかの経験でした。慣れてきた頃には帰国という、振り返ると短すぎた二週間でしたが、離れてみて改めて日本の良さを再認識したり、イギリスの美しさをもっと感じたくなったりと、何に触れても探究心が湧いてくる自分を実感できました。この経験は、新しいステージへ進む私達の糧になると思います。

私はここ、中杉で、他愛もないことで笑い合える友達がたくさんできました。七十四人の大所帯で支え合ってきたダンス部のメンバーや、先輩後輩問わず意見を言い合える模擬裁判の仲間、毎日顔を合わせることに仲良くなったクラスのみんな、かけがえのない一生ものの親友たちと出会えました。いつだって色々背負い込むタイプの私を見守り、応援し、ともに歩んでくれてありがとう。

私たちは、我慢から解放へと向かう過程の苦楽をすべて共にした世代だと思います。高校に入学する頃にはコロナとの共存を覚え、一年生では様々な制限があったものの、二年三年と上がるにつれて元の姿を模索し、最後にはマスク解禁、行事等の通常開催にまでこぎつけました。ここに至るまでには私たちの対策と我慢の積み重ねもありましたが、何より先生方や中杉を支えてくださる方々の多大なるサポートが不可欠でした。本当にお世話になりました。校長先生をはじめ、担任の先生、各教科の先生方、進路指導の先生方、卒論の先生、顧問の先生方、一人一人の先生方のお名前を挙げて感謝を伝えたいほどです。改めて御礼申し上げます。

これからの社会では、自分の芯を強く持ち、惑わされず行動することが求められています。三二二名がそれぞれの進路に進みますが、コロナ禍を乗り越えた私達には柔軟な思考力といつでも相談できる仲間がついています。行き詰まったと

THANK YOU

掲示用品一式をご寄贈いただきました

59期生の皆さんより、卒業記念品として教員室前の掲示用品一式(ホワイトボード、黒板、掲示板等)をご寄贈いただきました。

ありがとうございました。新しいボードや掲示板のおかげで校内が一気に明るくなりました。皆さんのことを思い出しながら大切に使います。



最後になりましたが、私達を今まで育て上げてくれた家族に、感謝の意を述べたいと思います。全力でサポートしてくれて、ありがとう。悩んだときいつも優しく導いてくれて、ありがとう。人は一人で生きているのではないと、心から感じた高校三年間でした。自分の芯を確立していこうとする私達を、これからも温かく見守ってください。

私たちの母校となる、多くの学びを与えてくださいました中央大学杉並高校の益々の発展をお祈りし、卒業生代表の挨拶いたします。

2年生・5コースに分かれての研修旅行、無事終了!

1月10日(水)~13日(土)の4日間(※海外コースは14日(日)帰国)、2年生は沖縄・奄美・東北・韓国・マレーシアの5コースに分かれた研修旅行を実施しました。探究学習を存分に取り入れた本コースでの実施は初めてです。各々が立てた問いの答えを探りながら過ごす、充実した旅となりました。

沖縄

#民泊 #古宇利島
#ひめゆり平和祈念資料館

ひめゆりの資料館や海軍司令部壕を訪れ、沖縄戦の悲惨さや戦争の恐怖を改めて感じました。

民泊では、アグー豚のステーキやサターアランダギーをいただき、沖縄の食文化も学ぶことができました。



東北

#気仙沼市の伝承館訪問
#松島湾遊覧 #東北大で発表

大槌の街を見た時、これが震災後に建てられたものだということ信じられませんでした。この街で生きようとする人々の強い思いが伝わってきました。



奄美

#マングローブアカメ体験
#大島紬工房 #固有種保護

島の方々の意見交換会がとても有意義だった。実際に島の人の意見を耳にして、様々なことに対する考えや、人々の温かさを知ることができた。



#非武装地帯の見学
#高校交流 #ソウル街歩き

韓国

韓国に行く前は「K-POP」「韓国料理」くらいの知識しかなかったが、戦争や徴兵制について考えるようになったり、仁川国際高校生との交流で韓国の文化や同年代の人達の間での流行を知ったりと、新たな発見の連続だった。



マレーシア

#カンボン(農村)ビジット
#ハラル産業開発公社見学

特に驚いたのが、人々の宗教に対する意識の高さです。宗教関連の施設ではそれぞれの信仰に関係なく、しかた等、そこでのルールに従って行動していて、お互いの宗派を尊重する姿勢を見ることができました。

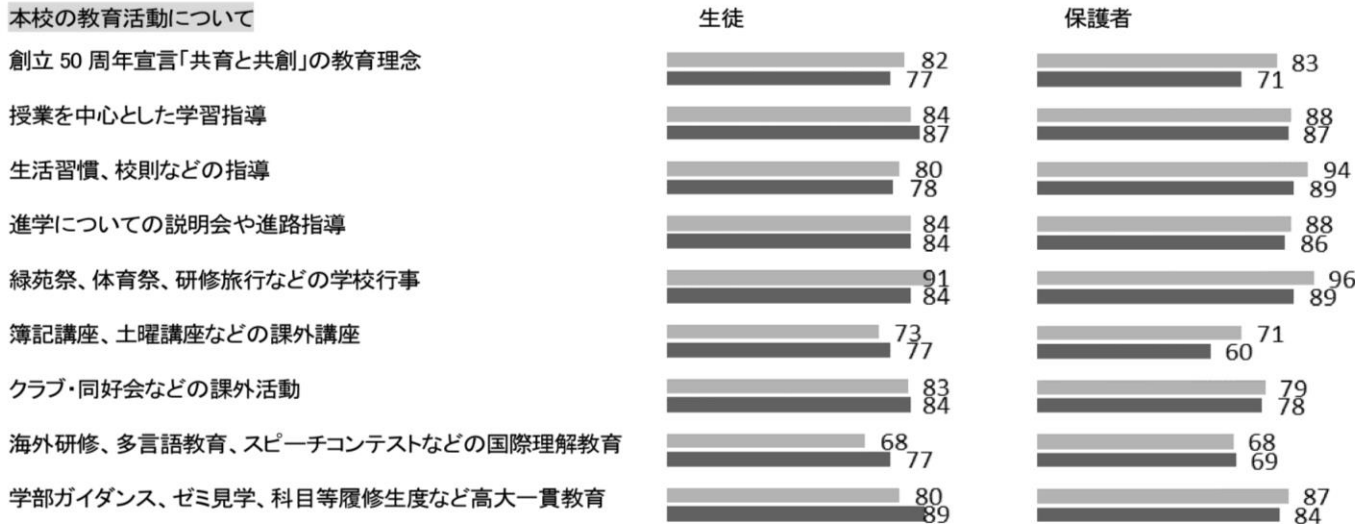


学校評価 アンケート結果報告

2023年11月に実施した「学校評価」のアンケート結果がまとまりました。回答数は生徒617名、保護者690名でした。ご協力ありがとうございました。選択肢(満足できる・やや満足できる・あまり満足できない・満足できない・わからない)のうち、「満足できる」「やや満足できる」という回答の割合を「満足度」として前回(2022年度)の結果と並べて示しました。■が今回、■が前回の満足度です。

今回の回答を見ると、多くの項目において80%前後あるいはそれ以上の満足度が示されており、今年度も、本校の教育活動に一定の評価を得られていると考えられます。今後とも、いただいたご意見を参考に計画を立てて参りたいと存じます。

本校の教育活動について



本校の教育環境について



本校の教育管理について



本校の教職員について



高校入学後の意識の変化について



総合



音楽祭

中大のクレセントホールで行われた音楽祭(2月3日実施)。マスク着用の制約がなくなり、豊かな表情でのクラシック合唱が披露されました。選択音楽クラス・合唱同好会・音楽部・吹奏楽部・保護者合唱も素晴らしい成果を発表し盛り上がりました。富澤先生(本校芸術科) & 藤木先生(中附高芸術科)による1,2年生への講評を掲載します。

- 2-1<GRAND ESCAPE>** Sop.の高音が良い発声でした。終盤、徐々に盛り上がっていく部分の音楽的表現は大変良かったです。オリジナルの楽譜でしたが、Sop.と男声の主旋律がユニゾンのときに、アルトが消されないよう歌うとよいです。
- 2-2<変わらないもの>** 歌い出し(ユニゾン)は自分達の声をよく聴き、響きや音程をもっと揃えましょう。明るい発声で、一つ一つの歌詞が明瞭に発音できていました。各フレーズの歌い終わりは大切に。最後まで丁寧に音楽を感じましょう。
- 2-3<モルダウ>** 曲の構成をよく考えた、熱量の感じられる合唱でした。時々音程が不安定になりましたが、よく歌い込まれ、安定感のある合唱に仕上がっていました。指揮が歌を上手に引き出し、ピアノの表現力も前奏から際立っていました。
- 2-4<正解>** 歌詞がはっきり聴こえ、詩に込められた心情がストレートに伝わりました。声を出そうとするあまり、時々地声になり勿体なかったです。強弱の幅はもっと大胆に付けても良かったかも。節度ある指揮と美しい伴奏の息が合っていました。
- 2-5<チェリー>** 明るく快活に歌うことにより、この曲らしさが十分にでていたと思います。テンポが速くなったり、最後の音の長さが短くなってしまったりしたところがやや見受けられました。各フレーズは歌い終わり音を切る瞬間まで、焦らず丁寧に。
- 2-6<Chessboard>** 複雑なリズムやコード進行が多く難曲ですがよく仕上げました。各声部のバランスが取れ、ハーモニーに厚みと奥行きが感じられました。柔らかな男声の響きが女声と綺麗に溶け合っていました。言葉の発音はより丁寧に。
- 2-7<信じる>** 発声、歌詞の扱い、フレーズの扱い、強弱の変化など、何れもクオリティーが高い合唱でした。指揮者が優れた音楽性を発揮し、高い技量で牽引したことにより、伴奏を含めた全員の感性が遺憾なく発揮された印象を受けました。
- 2-8<ヒカリ>** 混声四部の難曲でしたが、気迫に満ちた完成度の高い合唱を聴かせてくれました。細部まで楽譜を読み込まないと出来ない多彩な表現が、大胆かつ繊細に出来ていました。キレのある指揮・力強い伴奏も全体をよく支えました。
- 1-1<栄光の架橋>** 緊張のせいか、歌い出しの音量がやや足りないかと感じましたが、徐々に張りのある声が出ていました。全体的にもう少し元気があっても良いと思いました。終盤のクレッシェンドの付け方はインパクトがあって良かったです。
- 1-2<群青>** リズムをしっかり捉えて躍動感のある音楽に仕上げていました。表現の工夫が随所に見られ、指揮、伴奏、歌の一体感も感じられました。男声は強く歌うところでも固い声にならず、響きを伴った柔らかな声が綺麗でした。
- 1-3<あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～>** 指揮が音楽をエネルギーに引き出そうとしていました。そのエネルギーに歌がもっと呼応すると、更にまとまりが生まれたと思います。高音域が安定し、ハーモニーに厚みを感じられました。
- 1-4<サザンカ>** 各パートのバランスが良く、特に女声が澄んだ発声できれいでした。歌詞の言葉一つ一つが明瞭に歌えており、詩の世界観が良く伝わってきました。歌にマッチした情感あふれるピアノ伴奏も素敵でした。
- 1-5<空も飛べるはず>** 男女とも発声が綺麗で、ハーモニーが整っていました。クラス皆の気持ちを一つに合わせて表現しようとする熱意が感じられました。曲想の変化を付けるのが難しい曲ですが、明るく爽やかな雰囲気がよく出ていました。
- 1-6<僕のこと>** 混声四部で音域の広い難曲をよく頑張りました。委縮せず積極的に声を出し、発声法やフレーズごとの表現などを正しく理解し実践できていました。時々喉に力が入り地声になり、音程の不安定さにつながったのが残念でした。
- 1-7<ひまわりの約束>** 曲の雰囲気合う柔らかな声で歌えていました。男声は音域的な理由で1オクターブ下げて歌っていましたが、低音域は声を出しにくかったもよう。「特に大切に歌いたい言葉をどう表現するか」ということにも留意しましょう。
- 1-8<キセキ>** 明るい響きで澁刺と歌えたことで、この曲らしさが存分に表現できていました。クラス皆で歌うことを楽しんでいる様子が各々の表情から伝わってきました。表現をより深めるために、pとfの差をもっと大胆に表現しても良かったかも。

(※1年音楽クラス部門は藤木先生の講評/他は藤木先生と富澤先生の講評を合わせた内容になっています。)



♪1年生部門♪

～音楽クラスの部～

【金賞・中杉大賞】

1年2組「群青」

【銀賞】

1年4組「サザンカ」

～美術クラスの部～

【金賞・中杉大賞】

1年8組「キセキ」

【指揮者賞】

H・K(2組)

【伴奏者賞】

Y・M(2組)

♪2年生部門♪

【金賞・中杉大賞】

2年7組「信じる」

【銀賞】

2年3組「モルダウ」

2年8組「ヒカリ」

【銅賞】

2年6組「Chessboard」

【指揮者賞】

K・Y(7組)

【伴奏者賞】

N・R(3組)

♪3年生部門♪

【金賞】

3年1組「友～旅立ちの時～」

【銀賞】

3年6組「心の瞳」

【銅賞・中杉大賞】

3年3組「HEIWAの鐘」

【指揮者賞】

S・W(4組)

【伴奏者賞】

N・Y(2組)

3学期活動報告

本校 HP「TOPICS」や学年ブログ(59・60・61期)でも詳細な報告を行っています。どうぞご覧ください。

【学校行事】

ユニティカレッジ生来校(1月15～18日):本校の提携校「ユニティカレッジ」から生徒18名先生3名が来校、交流を楽しみました。
2学年研修旅行(1月10～13日(海外は14日)):沖縄、奄美、東北、韓国、マレーシアの5コースに分かれ実地研修を行いました。
3学年フィールドワーク(1月11日):卒業準備委員が中心となって企画運営し、鎌倉・新横浜でフォトログイニングを楽しみました。
3学年卒論発表会(1月12、13日):本校卒業生(大学生)17名をアドバイザーに迎え、分科会形式で全員が卒論発表を行いました。
1学年フィールドワーク(1月11日):「探究」の授業で学んできたSDGsが、社会でどのように実践されているか各地で確認しました。
附属4校合同スピーチコンテスト(1月13日):茗荷谷キャンパスで実施。3年Mさん、1年Uさんが出場しました。
土曜講座「法学論文ゼミ」講評会(1月27日):土曜講座で論文執筆に挑んだ17名が、法学部を訪れ橋本教授に講評をいただきました。
3学年中大入学前教育(2月1～7日):中央大学に進学が内定した3年生が、大学のゼミ体験やレポート作成に取り組みました。
3学年オックスフォード研修(2月12～26日):3年生の有志30名がオックスフォードでホームステイをしながら研鑽を積みました。
PBL研究発表会(2月14日[1年生]、21日[2年生]):3年生の優秀論文発表、1・2年生の探究学習発表を第一体育館で行いました。
3学年伊豆大島研修(2月21～22日):東京都教育委員会の助成を受け、3年生希望者70名が伊豆大島を訪問しました。
東京三弁護士会多摩支部設立25周年記念シンポジウム(3月2日):3年Iさん・Mさんが18歳代表として登壇しました。
3学年卒業記念芸術鑑賞教室(3月5日):3年生全員で、TBS赤坂ACTシアターで上演中の「ハリー・ポッター」を鑑賞しました。

【有志活動】

SB Student Ambassador 全国大会(2月21日):2年Kさん、Nさん、Yさん、Mさんが出場しました。
第20回日台文化交流成年スカラシップ(3月8日):3年Mさんが作文部門で優秀賞受賞、副賞として台湾研修を獲得しました。



「第32回はいすくーるドラマスペシャル」に出演します。
この発表会は、実行委員会に推薦された関東地区の優秀校が出場する発表会です。会場は六本木の俳優座劇場！是非ご来場下さい。

演目 「わたしたちのピーターパン」

日時 4月2日(火) 19:30-20:30

会場 俳優座劇場(六本木駅よりすぐ)

チケット(無料)が必要なので事前にお申し込みください。

お申し込み <https://forms.gle/19HXwv7yflPdV2BZ6>

お問い合わせ ba9903@chusugi-mail.jp (顧問 前野)

演劇部よりお知らせ



谷内田先生ご退職

本年度をもちまして、谷内田一郎先生(数学科)がご退職なさいます。
谷内田先生は1983年より中杉に着任、41年にわたり教鞭をとられました。
36期および57期の学年主任、教頭を4年、副校長を2年務められ、中杉教育の礎を築いてくださいました。先生、ありがとうございました。



事務室…春休み中の取扱時間は平日9:00～17:00(昼休み:12:00～13:00)、土曜日9:00～12:00です。

図書室…春休み中の利用可能時間は平日の9:00～17:00です。春休み中の土曜日は全て閉室です。**未返却本は、必ず返却を!**

保健室…春休み中の開室時間は平日(9:00～17:00)&土曜日(9:00～12:00)です。気になることがあれば、どうぞお電話を下さい。

事務室・図書室・保健室より

卒業生進路(59期生)

| 2023年度進学・中央大学学部別推薦者数 | | | |
|----------------------|----------------|-----------------|------|
| 学部 | 学科・専攻・コース | | 決定人数 |
| 法学部 | 法律学科 | | 51 |
| | 国際企業関係法学科 | | 10 |
| | 政治学科 | | 23 |
| 経済学部 | 経済学科 | | 24 |
| | 経済情報システム学科 | | 9 |
| | 国際経済学科 | | 14 |
| | 公共・環境経済学科 | | 9 |
| 商学部 | 経営学科 | フレックス・コース | 10 |
| | | フレックス Plus1・コース | 6 |
| | 会計学科 | フレックス・コース | 9 |
| | | フレックス Plus1・コース | 6 |
| | 国際マーケティング学科 | フレックス・コース | 10 |
| | | フレックス Plus1・コース | 6 |
| | 金融学科 | フレックス・コース | 5 |
| | | フレックス Plus1・コース | 2 |
| 理工学部 | 数学科 | | 1 |
| | 物理学科 | | 0 |
| | 都市環境学科 | | 4 |
| | 精密機械工学科 | | 5 |
| | 電気電子情報通信工学科 | | 4 |
| | 応用化学科 | | 3 |
| | ビジネスデータサイエンス学科 | | 5 |
| | 情報工学科 | | 4 |
| | 生命科学科 | | 2 |
| | 人間総合理工学科 | | 4 |
| 文学部 | 人文社会学科 | 国文学専攻 | 2 |
| | | 英語文学文化専攻 | 3 |
| | | ドイツ語文学文化専攻 | 1 |
| | | フランス語文学文化専攻 | 1 |
| | | 中国言語文化専攻 | 1 |
| | | 日本史学専攻 | 2 |
| | | 東洋史学専攻 | 0 |
| | | 西洋史学専攻 | 1 |
| | | 哲学専攻 | 2 |
| | | 社会学専攻 | 2 |
| | | 社会情報学専攻 | 2 |
| | | 教育学専攻 | 2 |
| | | 心理学専攻 | 4 |
| 学びのパスポートプログラム | 2 | | |
| 総合政策学部 | 政策科学科 | | 10 |
| | 国際政策文化学科 | | 10 |
| 国際経営学部 | 国際経営学科 | | 7 |
| 国際情報学部 | 国際情報学科 | | 8 |

*59期生の91.7%(286名)が中央大学へ推薦されました

【国公立大学】

お茶の水女子大学
金沢大学
筑波大学
東京外国語大学
東京芸術大学
東京工業大学
防衛大学校

【私立大学】

青山学院大学
学習院大学
学習院女子大学
神奈川大学
杏林大学
慶応義塾大学

国際基督教大学
芝浦工業大学

順天堂大学
昭和大学
上智大学

女子美術大学
成城大学
中央大学 ※外部受験
津田塾大学

帝京大学
東京医科大学
東京家政大学
東京国際大学
東京造形大学
東京都市大学
東京理科大学

東洋大学
日本大学

法政大学

明治大学

立教大学

早稲田大学

【海外の大学】

Earlham College

文教育学部言語文化学科 (1名)
医学保健学域医学類 (1名*)
芸術専門学群 (1名)
国際社会学部文化地域英語 (1名)
美術学部絵画科日本画専攻 (1名*)
情報理工学院 (1名)
人文・社会科学専攻 (1名)

理工学部情報テクノロジー学科 (1名*)
機械創造工学科 (1名*)

国際社会科学部国際社会科学科 (1名*)
国際交流学部日本文学文化学科 (1名)
法学部 (1名)
医学部医学科 (1名*)
法学部法律学科 (2名) 政治学科 (1名)
文学部 (2名) 薬学部 (1名*)
教養学部 (1名)

工学部土木工学科 (1名)
情報工学コース (1名*)

医学部医学科 (1名*)
医学部医学科 (1名*)
外国学部ポルトガル語 (1名) ロシア語 (1名)
総合グローバル学部 (1名)
総合人間学部社会学科 (1名)
社会福祉学科 (1名)

文学部ドイツ文学科 (1名)
法学部地球環境法学科 (1名)
理工学部機能創造理工学科 (1名)
情報理工学科 (1名)

芸術学部デザイン・工芸学科 (1名)
法学部法律学科 (1名*)
総合政策学部国際政策文化学科 (1名)
学芸学部英語英文学科 (1名)
国際関係学科 (1名)
多文化国際関係学科 (1名)

医学部医学科 (1名*)
医学部医学科 (1名*)
人文学部心理カウンセリング学科 (1名)
商学部 (1名)
造形学部デザイン学科 (1名)
建築都市デザイン学部都市工学科 (1名)
経営学部国際経営学専攻 (1名)
工学部建築学科 (1名) 電気工学科 (1名*)
先進工学部マテリアル創成工学科 (1名)
創域理工学部社会基盤学科 (1名)
生命生物科学科 (1名、1名*)
薬学部生命創薬科学科 (1名)

経済学部総合政策科 (1名*)
医学部医学科 (1名*)
文理学部哲学科 (1名*)
法学部新聞学科 (1名)

国際文化学部 (1名)
生命科学部 生命機能学科 (2名*)
デザイン工学部都市環境デザイン学科 (1名)
国際日本学部 (1名)

農学部生命科学科 (1名)
理工学部建築学科 (1名)
情報科学科 (1名*)
機械情報工学科 (1名*)

異文化コミュニケーション学部 (1名)
社会学部現代社会学科 (1名)
文学部文芸・思想学科 (1名)

創造理工学部社会環境学科 (1名)
教育学部 (1名) 社会科学部 (1名)
文化構想学部 (1名) 文学部 (1名)

International Studies (1名)
Computer Science (1名)

(2024年3月19日現在の合格報告状況、*は過年度生)